

# 国際交流2025

令和7年国際交流報告書



International Exchange  
MAIZURU2025  
2025.01~2025.12



---

## 目 次

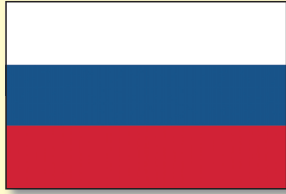
---

姉妹都市・ナホトカ市の概要 .....	P3
友好都市・大連市の概要 .....	P4
姉妹都市・ポーツマス市の概要 .....	P5
その他の交流がある国・都市 .....	P6
京都舞鶴港と対岸諸港を結ぶ国際航路図 .....	P7
大連市との交流 .....	P8
ポーツマス市との交流 .....	P10
浦項市との交流 .....	P11
ウズベキスタン共和国との交流 .....	P13
キルギス共和国との交流 .....	P14
平和祈念式典 .....	P15
大阪・関西万博を通じた世界各国との交流 .....	P16
インバウンド誘客事業 .....	P17
京都舞鶴港を活用したクルーズ船の誘致 .....	P18
京都舞鶴港を活用した貿易振興 .....	P20
その他国際交流 .....	P22

---

※氏名の記載については、敬称を省略させていただき、職名や組織名等は当時のものとさせていただきます。

表紙写真：(左上) ポーツマス市訪問青少年英語研修 (2025年3月 ポーツマス市)  
(右上) ダンスを披露するウズベキスタン人留学生 (2025年11月 舞鶴市)  
(下) 舞鶴市少年使節団による大連市訪問 (2025年8月 大連市)



## 姉妹都市 ナホトカ市 (ロシア連邦) Nakhodka



### 姉妹都市提携年月日

1961 (昭和36) 年6月21日



### ナホトカ市の概要

ナホトカ市はロシア連邦沿海地方の南東部に位置し、面積約325.9Km<sup>2</sup>、人口約13万5千人(2024年現在)を有する都市です。19世紀半ば過ぎにロシアの軍艦「アメリカ号」が偶然発見したのが都市の起源であり、「ナホトカ」には、ロシア語で「見つけもの」の意味があります。日本との時差は+1時間。

**産業**：舞鶴と同じ天然の良港を有する国際港湾都市で、主な産業は、海上輸送、漁業、石油製品卸、建設業、商業です。また、シベリア鉄道の東端に位置しているため、遠くロシア西部やヨーロッパをも後背地とする重要な物流港です。

**気候**：モンスーン型気候で1月の平均気温は-13℃、8月の平均気温は18℃、年間降水量は740mm。

**その他の姉妹都市**：敦賀市・小樽市(日本)、吉林市(中国)、東海市(韓国)、オークランド市・ベリンガム市(アメリカ)、プーケット州(タイ)



ナホトカ市庁舎



### ナホトカ市との交流

1956年日ソ共同宣言の調印により、舞鶴市では引揚者の乗船港としても縁の深いナホトカ市と貿易で友好を深め、日ソ両国の友好強化に寄与しようという機運が高まり、1956年に舞鶴市議会において、ナホトカ市に対する友好決議が行われました。1961年6月、ドウボフカ・ナホトカ市長を舞鶴市に迎え、日本とソビエト連邦(当時)との間で初めてとなる姉妹都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では「日本海を平和と友情の海に」を合言葉に、スポーツ交流団の相互派遣、少年使節団の交換、通信体育競技会の実施など活発な交流を展開し、2021年には、姉妹都市提携60周年を迎えました。



舞鶴市・ナホトカ市友好の碑



ナホトカ商業港



カザンスキー教会



# 友好都市 大連市 (中国) Dalian



## 友好都市提携年月日

1982 (昭和57) 年5月8日

## 大連市の概要

大連市は中国東北部遼東半島最南端に位置し (緯度は日本の山形県酒田市とほぼ同じ)、東は黄海、西は渤海、南に海を隔てて山東半島を望む港湾工業都市です。人口609万2千人 (2024年現在)、面積約12,574Km<sup>2</sup>。1899年にロシア人が大連港の建設を開始したのが都市としての始まりです。日本との時差は-1時間。



大連市人民政府庁舎

**産業**：古くから造船・石油化学など重工業の拠点でしたが、改革開放後、東北地方においていち早く市場経済化に取り組みました。90年代からは日系を中心とする外資系製造業の誘致に成功し、近年は海外IT企業の進出も目覚ましく、環境技術の導入にも力を入れています。一方、観光産業における発展も目覚ましく、「アカシア祭り」「国際ビーチ祭り」「国際ビール祭り」「国際マラソン大会」など季節ごとにイベントが開催され、多くの外国人観光客で賑わっています。

**気候**：暖温帯大陸性モンスーン気候で、四季がはっきりしています。1月の平均気温は-3.9℃、8月の平均気温は24.1℃、年間降水量は550～950mm。

**その他の友好都市**：北九州市 (日本)、ブレーメン市・ロストック市 (ドイツ)、グラスゴー市 (イギリス)、ル・アーヴル市 (フランス)、オークランド市 (アメリカ)、ウラジオストク市 (ロシア)、ポワントノワール市 (コンゴ共和国)、エンスヘーデ市 (オランダ)

## 大連市との交流

舞鶴市では、地理的な条件や引き揚げ等の歴史的な経過から、大連市 (当時旅大市) との友好交流を望む市民の声が強くありました。1978年の日中平和友好条約の締結により、舞鶴市としても友好都市提携実現に向け、関係機関への働きかけや経済・貿易関係の交流を積極的に展開した結果、1982年5月、舞鶴市において崔栄漢・大連市長 (当時) を迎え、友好都市提携が実現しました。以来今日まで、両市の間では各種訪問団の相互派遣、少年使節団の交換、友好の船の派遣など活発な交流を展開し、2022年には、友好都市提携40周年を迎えました。



白玉山からの旅順港の眺め



中山広場



大連の海鮮料理



## 姉妹都市 ポーツマス市 (英国) Portsmouth



### 姉妹都市提携年月日

1998 (平成10) 年5月15日・27日

### ポーツマス市の概要

ポーツマス市は英国南部のイギリス海峡に面した港湾観光都市です。人口約21万4千人(2024年6月現在)、面積約40K㎡。ロンドンの南西部110kmに位置し、1926年に市制を施行しましたが、ポーツマス市の起源は1194年にリチャード1世の憲章にはじまり、800年余の古い歴史を持ちます。日本との時差は-9時間。



ポーツマス・ギルドホール

**産業：**英国海軍の主要基地として発展してきた町で、現在、海軍基地はポーツマス・ヒストリック・ドックヤードと呼ばれる観光施設として利用され、当時の軍艦等が保存されています。多くの博物館や観光施設を有する、英国のみならずヨーロッパでも有数のリゾート地として知られています。近年では、港湾地区の再開発が進められ、複合レジャー施設「ガンワフ・キーズ」は多くの人でにぎわいを見せています。

**気候：**北部を丘陵地帯に守られ、イギリス海峡の湾流の影響もあり、温暖な気候に恵まれています。平均気温は夏で18～25℃、冬で5～12℃ほどです。

**その他の姉妹都市：**カーン市(フランス)、デュースブルク市(ドイツ)、ハイファ市(イスラエル)、ポーツマス3市(アメリカ・ニューハンプシャー州、バージニア州、ロードアイランド州)、シドニー市(オーストラリア)、珠海市・湛江市(中国)、シレット市(バングラデシュ)、フォークランド諸島(英国領)、ハリファックス市(カナダ)

### ポーツマス市との交流

舞鶴市とポーツマス市は、1993年赤れんが博物館の開館時にポーツマス市かられんがが贈られたことをきっかけに交流が始まりました。その後、小中学校の手紙の交換やボーイスカウトの交流など市民レベルでの交流が進み、1998年5月に舞鶴市・ポーツマス市の市長が両市を相互訪問し、姉妹都市提携が実現しました。特に舞鶴市の青少年がポーツマス市を訪れて行う英語研修では、これまでに290人以上の中高生が参加しています。2023年には、姉妹都市提携25周年を迎えました。



スピナーカーター



ビクトリー号



ガンワフ・キーズ

## その他の交流がある国・都市



### 浦項市 (大韓民国)

Pohang



#### 浦項市の概要

浦項市は、韓国・慶尚北道の東海岸に位置する、人口約49万2千人(2024年9月現在)、市の面積約1,129Km<sup>2</sup>の国際港湾都市です。古くから水産業で栄えたまちでしたが、1970年代初頭に「浦項製鉄所(POSCO)」が誕生



韓国で一番最初に日が昇る地として有名な「ホミゴッ」

1970年代初頭に「浦項製鉄所(POSCO)」が誕生

して以来、韓国有数の工業都市として発展してきました。浦項港では、鉄鋼関係の輸出入が大半を占めます。2014年にKTX(韓国版新幹線)が開通し、首都ソウルから約2時間半でアクセスできるようになりました。



#### 浦項市との交流

2011年7月に、京都府とともに「経済交流等の推進に関する協定書」を締結後、本格的に交流を開始しました。2011年11月に、京都舞鶴港が国から3つの機能(国際海上コンテナ、国際フェリー・RORO船、外航クルーズ)で「日本海側拠点港」の選定を受けて以来、国際フェリー航路の開設に向けた取り組みを実施。現在、舞鶴市では浦項市と中学生の相互訪問など、青少年交流を進めています。



### ウズベキスタン共和国

(首都：タシケント市)

Republic of Uzbekistan



#### ウズベキスタン共和国の概要

ウズベキスタンは中央アジアに位置しており、面積は日本のおよそ1.2倍、人口は約3,710万人(2025年現在)、戦後、約2万5千人の日本人が抑留された地で、1991年にソビエト連邦崩壊に伴い独立した国です。



日本人抑留者が建設に携わった「ナボイ劇場」



#### ウズベキスタン共和国との交流

2016年1月、首都タシケント市内の日本人抑留者資料館のスルタノフ・ジャリル館長が引揚記念館を訪問したことがきっかけでウズベキスタンとの交流が始まりました。その後、東京五輪におけるウズベキスタンのホストタウンに登録され、2021年の本大会直前には、柔道代表選手団が舞鶴市で事前合宿を実施。このほか、日本人抑留者が建設に関わったナボイ劇場の団による公演や、現在では、2019年にリシタン地方と交換した「人材育成交流に関する覚書」に基づき「産業技術」「介護福祉」「農業」分野の人材育成に協力しています。



### キルギス共和国

(首都：ビシュケク)

Kyrgyz Republic



#### キルギス共和国の概要

キルギス共和国は、人口約730万人(2025年現在)、面積は日本の約半分で、中央アジアに位置しています。舞鶴市と友好的な交流のあるウズベキスタン共和国に隣接した国です。



日本人抑留者が建設に携わった「サナトリウム」



#### キルギス共和国との交流

2024年の夏に、駐日キルギス大使館の書記官と懇談する機会があり、戦後、キルギス共和国に日本人抑留者がいたことやその抑留者の方々が舞鶴に引き揚げてこられたこと、レスリングや柔道が盛んであることなど、舞鶴市との親和性の高さがあることが分かり交流につながりました。同年12月と翌年2月にキルギス共和国の関係者が舞鶴市を、8月には舞鶴市の代表団がキルギス共和国を訪れ相互訪問が実現しました。

今後、日本人抑留についての研究やスポーツ・人的交流などで交流を進めていきます。

姉妹・友好都市、その他交流のある国・都市の地図



## 京都舞鶴港と対岸諸港を結ぶ国際航路図



# 大連市との交流

## 2025年5月16日(金)～18日(日) 舞鶴市代表団が大連市を訪問

第34回大連アカシア祭りに参加するため、舞鶴市長を団長とする舞鶴市代表団が昨年に続き、大連市を訪問。アカシア祭りの開幕式及び歓迎レセプションに出席したほか、熊茂平大連市書記と会談しました。

また、大連市の招待により、恵華クレインズ' 舞太鼓が開幕式や関連行事で和太鼓を演奏しました。

### 《訪問者》

#### ◆舞鶴市代表団(3名)

舞鶴市長	鴨田 秋津
舞鶴市産業振興部長	小島 宏
舞鶴市産業活力課企業誘致担当課長	渋沢 元気

#### ◆恵華クレインズ' 舞太鼓(10名)

(舞鶴市代表団とは別行程)	団員9名
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	坪内 善紀

### 《舞鶴市代表団日程》

5月16日(金)

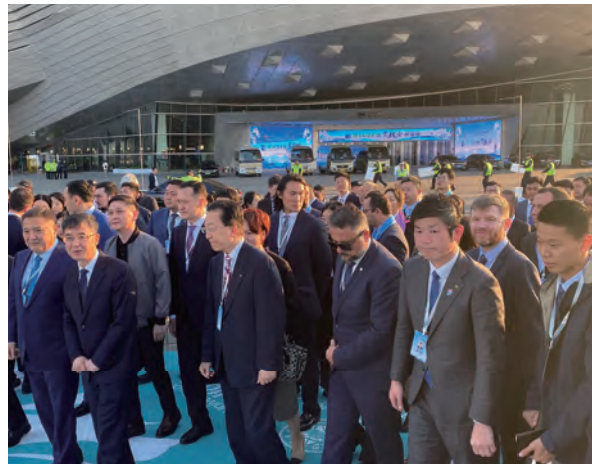
伊丹発～羽田～大連着  
大連市書記との会談

5月17日(土)

大連市内視察  
第34回大連アカシア祭り開幕式  
第34回大連アカシア祭り歓迎レセプション

5月18日(日)

大連発、大阪～舞鶴着



大連アカシア祭り開幕式の会場へ向かう関係者



大連アカシア祭り開幕式



恵華クレインズ' 舞太鼓による和太鼓の演奏



恵華クレインズ' 舞太鼓団員

## 2025年8月7日(木)～11日(月) 舞鶴市少年使節団が大連市を訪問

大連市との青少年相互訪問事業として、6年ぶりに舞鶴市から少年使節団23名(小学生18名、引率者5名)が大連市を訪問。大連市民の家庭でホームステイを行ったほか、現地の小学校を訪問して交流するなど、相互理解を深めました。

### 《訪問者(23名)》

新舞鶴小学校6年	山本 遥輝
与保呂小学校6年	守屋 杏美
志楽小学校6年	谷奥ひまり
志楽小学校6年	吉元 絋里
明倫小学校6年	小嶋 太陽
中筋小学校6年	鎌倉 彩晴
中筋小学校6年	吉田 彩良
中筋小学校6年	渡邊 葵士
高野小学校6年	廣瀬 貴之
高野小学校6年	船本 歩
高野小学校6年	宮代 瑛太
高野小学校6年	吉岡 伊月
三笠小学校5年	藤原 彰人
明倫小学校5年	石黒 結望
明倫小学校5年	差我 三織
明倫小学校5年	柴田 真緒
中筋小学校5年	谷川 蓮
中筋小学校5年	山上 日菜
余内小学校校長	藤原 篤美
岡田小学校主幹教諭	棚原 寛子
中舞鶴小学校養護教諭	福田 好美
舞鶴市教育委員会学校教育課指導係主任	森 伊都子
舞鶴市みなと振興・国際交流課国際交流係長	坪内 善紀

### 《日 程》

- 8月7日(木)
  - 舞鶴発、大阪～大連着
- 8月8日(金)
  - 大連市内視察
  - 実験小学校で交流会  
(両市児童からの発表、文化体験)
- 8月9日(土)
  - ホストファミリー対面式、ホームステイ
- 8月10日(日)
  - ホームステイ
- 8月11日(月)
  - 大連発、大阪～舞鶴着



大連武術文化博物館で記念撮影



実験小学校でソーラン節を披露



実験小学校で文化体験を通じて交流

# ポーツマス市との交流

## 2025年3月22日(土)～31日(月) ポーツマス市で青少年英語研修を実施

ポーツマス市との青少年交流事業として、6年ぶりに市内在住の中高校生10名が、ポーツマス市でホームステイをしながら英語を学ぶ短期研修を実施。語学学校での英語学習のほか、ポーツマス市名誉市長への表敬訪問、現地校の生徒との交流など、同世代の友好交流を深めました。

### 《訪問者(10名)》

西舞鶴高校2年	塩見 南惺
日星高校2年	佐藤 奈那
舞鶴高専2年	水嶋 奈緒
福知山高校1年	梶井 彩花
福知山高校1年	西村 心
福知山成美高校1年	脇本英理奈
城北中学校3年	金崎亜紗美
京都共栄学園中学校3年	日置 歩風
和田中学校3年	前田 有
福知山高校附属中学校3年	山田咲奈実

### 《日程》

- 3月22日(土) 舞鶴発、伊丹～羽田～ロンドン～ポーツマス着
- 3月23日(日) ホストファミリーとの対面、ホームステイ
- 3月24日(月)～28日(金) 語学学校での英語学習、ホームステイ
- 3月25日(火) ポーツマス市名誉市長表敬訪問
- 3月26日(水)、27日(水) メイフィールド校を訪問しての交流
- 3月29日(土) ポーツマス発、ロンドン着、ロンドン市内視察
- 3月30日(日) ロンドン発
- 3月31日(月) 羽田～伊丹～舞鶴着



メイフィールド校生徒との交流

## 元舞鶴市長 江守光起氏を偲んで日本庭園に鳥居を建立

舞鶴市とポーツマス市の姉妹都市提携やサウスシーへの日本庭園の開設に尽力された江守光起 元舞鶴市長(2025年5月逝去)の功績を称え、ポーツマス市が同園内に鳥居を建立されました。

12月11日には除幕式が執り行われ、舞鶴市とポーツマス市の交流が始まったときに名誉市長であったアラン・バーネット市議も出席し、江守元舞鶴市長を偲びました。



除幕式にて記念撮影

# 浦項市との交流

## 2025年6月6日(金) 浦項市港湾関係者が来訪

浦項市からのクルーズフェリー船「パンスターミラクル」の京都舞鶴港初寄港に併せて、同市の港湾関係者が舞鶴市長を表敬訪問されました。

パンスターミラクルの初寄港を契機として、両市の今後の友好交流の更なる発展について意見交換を行いました。

### 《来訪者(4名)》

浦項市海洋水産局長	ソン・ジョンホ
浦項市海洋産業課長	キム・セウォン
浦項市港湾課港湾物流チーム長	ゴン・ジュンソク
浦項市港湾課港湾物流チーム主務官	キム・ウォンイ



浦項市港湾関係者と記念撮影



市内の園児による太鼓の演奏で初寄港を歓迎

## 2025年6月20日(金)～22日(日) 舞鶴市代表団が浦項市を訪問

浦項市で開催される国際行事「2025浦項国際花火祭り」に合わせ、6年ぶりに舞鶴市代表団が浦項市を訪問。張相吉(ジャン・サンギル)副市長と面会したほか、関連行事の北東アジア経済協力フォーラムに参加しました。  
※花火大会は荒天のため中止。

### 《訪問者(3名)》

舞鶴市長	鴨田 秋津
舞鶴市産業振興部長	小島 宏
舞鶴市みなと振興・国際交流課長	中山 隆司

### 《日 程》

6月20日(金)  
舞鶴発、大阪～大邱～浦項着  
浦項市副市長と面会  
6月21日(土)  
北東アジア経済協力フォーラム参加  
歓迎レセプション参加  
6月22日(日)  
迎日湾港視察、浦項発  
大邱～大阪～舞鶴着



張相吉副市長と面会

# 浦項市との交流

## 2025年7月11日(金)～14日(月) 浦項市青少年交流訪問団が来訪

浦項市から青少年の相互訪問事業として、青少年交流訪問団23名(中学生20名、引率者3名)が来訪。舞鶴市民の家庭でホームステイを行ったほか、若浦中学校で琴の演奏体験や日本の遊びを通じて交流するなど、舞鶴での滞在を満喫しました。

### 《来訪者(23名)》

大島中学校3年	キム・ドギョン
迎日中学校3年	ソ・ヒョンジン
大東中学校2年	キム・ヒョヌ
浦項製鉄中学校2年	グ・ドヒョン
迎日中学校3年	イム・ヒョンジン
大興中学校1年	バク・ゴンユル
神光中学校3年	ベ・ウンビン
大興中学校3年	キム・チョヒ
梨洞中学校3年	ファン・ジウオン
昌浦中学校3年	ナ・イェソ
昌浦中学校3年	ファン・ハウム
上島中学校1年	ソン・シウン
圃隠中学校2年	キム・ミリム
浦項製鉄中学校2年	キム・ギョリョン
梨洞中学校1年	イ・ソヒョン
烏川中学校1年	キム・ハリム
清河中学校1年	キム・ヘリム
同志女子中学校1年	キム・ハヨン
圃隠中学校1年	キム・ジウ
清河中学校1年	ジョン・イェソル
浦項市南区税務課都道税チーム	ナ・ドンチャン
浦項市長髻面産業チーム	キム・テヒョン
浦項市コンベンション	
観光産業課国際協力チーム	バク・ユズン

### 《日 程》

- 7月11日(金)  
舞鶴着
- 7月12日(土)  
歓迎式・ホストファミリー歓迎式  
市内各家庭でホームステイ
- 7月13日(日)  
ホストファミリーとの交流
- 7月14日(月)  
若浦中学校で学校交流(琴の演奏体験、折り紙、射的など)、抹茶点て体験



歓迎式・ホストファミリー対面式



若浦中学校で琴の演奏体験



庵 彦一郎で抹茶点て体験

# ウズベキスタン共和国との交流

## 留学から就労の循環で産業技術人材を育成

舞鶴市とリシタン地区との覚書に基づき、「産業技術」分野の人材育成交流の一環として、2022年から毎年、リシタン地区の日本語学校「Noriko学級」から京都職業能力開発短期大学校へ留学生の受け入れを行っています。

留学1・2期生は市内企業で就労。2025年は、新たに3名が留学するとともに、2026年の留学に向けて2名が受験し、全員合格。留学から卒業後の就労までの循環を生み出すことで、人材育成に取り組んでいます。

### ■2025年留学生 4期生(3名)

イスマトライフ・ムハマディヨル  
アバズベコフ・アザムジョン  
ムロドフ・アサドベック

### ■2026年留学生 5期生(2名)

アブドゥコディオフ・アクバルシヨフ  
ザイロビディオフ・ダブロンベク



2025年留学生

## 2025年5月30日(金) Noriko学級の校長が来訪

リシタン地区にある日本語学校「Noriko学級」のナジロフ・ガニシエル校長が来訪し、舞鶴市長を表敬訪問されました。

また、翌日は、ウズベキスタンとの交流の原点「抑留と引き揚げ」の歴史を展示した引揚記念館を訪れ、市民らと交流し親睦を深めました。

### 《来訪者(1名)》

Noriko学級校長 ナジロフ・ガニシエル



ナジロフ校長と記念撮影

## 2025年12月19日(金) 日本・ウズベキスタンビジネスフォーラムに参加

東京で開催された「日本・ウズベキスタンビジネスフォーラム」に参加。両国の政府や企業の関係者など約150人が集まり、日本とウズベキスタンの幅広い分野における協力の深化に向けて、今後の展望等について意見交換を行いました。

### 《訪問者(2名)》

舞鶴市長 鴨田 秋津  
舞鶴市議会議長 肝付 隆治



鴨田市長と肝付市議会議長

# キルギス共和国との交流

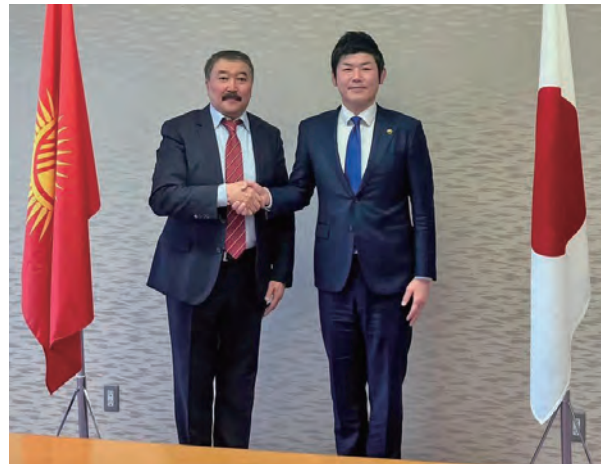
## 2025年2月10日(月) キルギス共和国訪問団が来訪

キルギス共和国元国会議員のサマコフ・カルガンベックさんらが来訪し、舞鶴市長へ表敬訪問されました。

キルギスは戦後、日本人が抑留された地の1つで、その後、舞鶴港に引き揚げた縁があります。舞鶴滞在中は、引揚記念館を視察しました。

### 《来訪者(7名)》

キルギス共和国元国会議員  
(キルギス・日本友好議員連盟会長)  
サマコフ・カルガンベック、ご家族2名  
サマコフ・イバラット  
堀場 幸子  
富田 恵輔  
師岡 孝明



サマコフ氏と記念撮影

## 2025年8月16日(土)～20日(水) 舞鶴市代表団がキルギス共和国を訪問

新たに友好交流が始まったキルギス共和国における抑留と両国民同士の交流について研究するため、現地視察・調査を目的とする舞鶴市代表団がキルギス共和国を初めて訪問。日本人抑留者が建設したタムガ村サナトリウム(保養所)などを視察しました。

### 《訪問者(3名)》

舞鶴市長	鴨田 秋津
舞鶴市産業振興部長	小島 宏
舞鶴市舞鶴引揚記念館主幹(学芸員)	松本 達也

### 《日 程》

8月16日(土)  
舞鶴発、大阪～ビシュケク着

8月17日(日)  
バルイクチ市長との会談、覚書交換  
タムガ村サナトリウム視察

8月18日(月)  
文化・情報・青年政策省訪問、覚書交換  
青年・体育・スポーツ庁訪問

8月19日(火)  
レスリングアカデミー視察  
在キルギス共和国日本大使館訪問  
抑留ドキュメンタリー映画鑑賞

8月20日(水)  
ビシュケク発、大阪～舞鶴着



日本人抑留者125名が建設したサナトリウム



バルイクチ市との覚書署名式

# 戦後80年・海外引揚80年 ユネスコ世界記憶遺産登録10周年 平和祈念式典

## 2025年10月10日(金)～14日(火) キルギス共和国訪問団が来訪

戦後80年・海外引揚80年 ユネスコ世界記憶遺産登録10周年 平和祈念式典に出席するため、日本人抑留者に関するドキュメンタリー映画関係者が来訪しました。舞鶴滞在中は、引揚記念館で映画の上映会を開催したほか、駐日キルギス共和国大使館のオソエフ・エルキンベク特命全権大使らとともに舞鶴市長へ表敬訪問されました。

### 《来訪者(3名)》

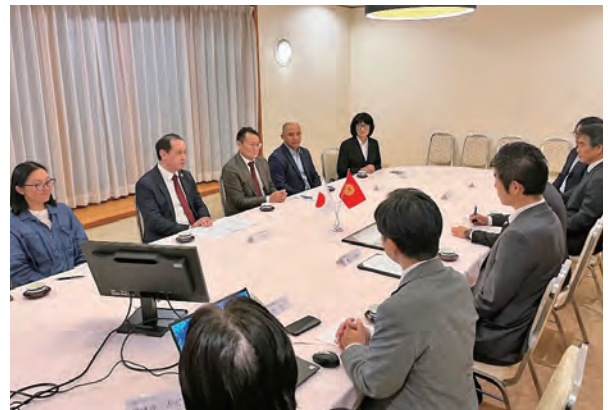
映画監督・プロデューサー  
サルガルタエフ・アルスタンベク  
映画助監督  
クバトワ・アイグル  
キルギス・日本ビジネス協議会会長  
モルドガジエフ・リスベク

### 《日 程》

10月10日(金) 舞鶴着  
10月11日(土) 引揚記念館視察  
映画「タムガ村600日の記憶と希望」上映  
舞鶴市長表敬訪問  
10月12日(日) 平和祈念式典参加  
10月13日(月) 京都市内視察  
10月14日(火) 帰国



日本人抑留者に関する絵画の寄贈



舞鶴市長表敬訪問

## 2025年10月12日(日) ウズベキスタン・キルギス関係者らが平和祈念式典に出席

10月12日(日)、引き揚げの史実と平和の尊さを発信する平和祈念式典を開催しました。戦後80年・海外引き揚げ開始80年、そして引き揚げ関連資料のユネスコ世界記憶遺産登録10周年を記念して開催したもので、シベリア抑留の抑留地であったウズベキスタン共和国からは、アブドゥラフモノフ・ムクシンクジャ駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使、キルギス共和国からは、オソエフ・エルキンベク駐日キルギス共和国特命全権大使並びに関係者が出席されました。

式典では、引揚船「興安丸」の時鐘の音を聞きながら黙とうをしたほか、次世代からのメッセージ、折り鶴アートの披露、市内全中学校による「引揚者を迎える歌」の合唱などが行われました。



引揚船「興安丸」の時鐘の音を聞きながら黙とう

# 大阪・関西万博を通じた世界各国との交流

## 各国・地域等が主催する行事に参加

4月13日(日)～10月13日(月)、大阪市・夢洲で「2025年大阪・関西万博」が開催。開催期間中は、世界各国・地域等からナショナルデーやスペシャルデーなど行事への招待があり、参加した行事で友好を深めました。

### ■ウズベキスタン主催行事

5月18日(日)

ウズベキスタン国立交響楽団ガラ・コンサート

### ■イタリア・アブルッツォ州主催行事

6月16日(月) アブルッツォ州ウィーク

### ■ウズベキスタン主催行事

8月17日(日) ナショナルデー

### ■中国・大連市主催行事

8月26日(火) 遼寧ウィーク・大連デー



ウズベキスタン ナショナルデー

## 2025年9月8日(月)～14日(日) 京都ブースで引き揚げのまち舞鶴を発信

引き揚げの史実や次世代への継承、抑留を縁とする交流など、舞鶴市独自の取り組みを世界に発信するため、万博会場の関西パビリオンの京都ブースに出展しました。

京都ブースでは、世界記憶遺産登録資料(複製)の展示や、抑留から交流につながる舞鶴市の取り組みについて紹介する動画を上映したほか、学生語り部による活動発表を行いました。



学生語り部が来場者に展示内容を紹介



学生語り部から活動を発表

# インバウンド誘客事業

## 2025年9月26日(金)～27日(土) VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2025に出展

宇治・亀岡・舞鶴インバウンド連携事業として、3市の観光協会が愛知県国際展示場で開催された「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2025」に出展。国内外の旅行会社13社と商談し、3市の観光コースについて紹介しました。

### 《訪問者(6名)》

宇治市観光協会事務局長	松村 尚
宇治市観光協会	道脇 瞳
亀岡市観光協会	安部 薫
舞鶴市観光協会事務局長	吉岡 久
舞鶴市観光協会	植和田輝代
舞鶴市観光振興課主幹	松岡 恵美



商談会

## (通年)インバウンド誘客プロモーション事業を実施

外国人観光客に対するプロモーションを強化し、舞鶴市への来訪を促すため、海の京都DMO等と連携し、KANSAI観光大使ファムツアーの受け入れや台湾メディアの取材誘致に取り組み、まちの魅力を発信しました。



KANSAI観光大使ファムツアー

# 京都舞鶴港を活用したクルーズ船の誘致

## 6年ぶりに舞鶴国際ふ頭に大型クルーズ船が着岸

2025年は計13回(外国船11回、邦船2回)のクルーズ寄港がありました。

2025年最初の受け入れは、4月10日に西港第2ふ頭へ寄港したダイヤモンド・プリンセス。乗客の多くは欧米の方で、約2,800人の方々がこのクルーズで舞鶴を訪れました。

桜の開花時期と重なったこともあり、多くの方が舞鶴の桜を見ながらフリー散策されました。



2025年最初の入港となった「ダイヤモンド・プリンセス」

旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」では、乗客向けの観光案内や物販に加えて、茶道や浴衣の着付け体験、尺八の演奏など、日本文化を通じた多くの交流も行いました。

また、西地区の街中では、明治時代の旧舞鶴町長や衆議院議員を務めた水島彦一郎氏の旧宅を活用した「庵彦一郎」での日本文化体験、平野屋商店街でのイベント、西市民プラザでのバザーなど、クルーズ船の寄港に合わせたさまざまな企画を開催いただき、乗客やクルーに舞鶴の魅力を楽しんでもらいました。



庵彦一郎での日本文化体験

7月27日には、約6年ぶりの舞鶴国際ふ頭での受け入れとなる13万トン級の大型クルーズ船「アドラ・マジック・シティ」が京都舞鶴港に寄港しました。

また、10月28日と11月28日には、16万トン級の大型クルーズ船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」が続いて国際ふ頭へ寄港し、4,000人規模の乗客が海の京都エリアを中心に楽しめました。



舞鶴国際ふ頭に着岸した「アドラ・マジック・シティ」

2025年は、「クルーズサポーター」として新たに約110名に登録いただきました。

クルーズ船の出港時には、毎回約30~40名のクルーズサポーターにお見送りへご参加いただき、和太鼓の披露や高校生による吹奏楽演奏などとともに、出港する乗客へ思い出に残る空間を届けました。



出港時にクルーズサポーターがお見送り

## 2025年7月9日(水)～12日(土) 2025アジア・クルーズ・フォーラム・済州に参加

韓国・済州特別自治道で開催された「2025アジア・クルーズ・フォーラム・済州」に参加。京都舞鶴港のPRやクルーズ関係者との商談会を行いました。

### 《訪問者(2名)》

舞鶴市産業振興部長	小島 宏
京都府経済交流課副主査	下野 群星

### 《日 程》

7月 9日(水) 大阪発、済州着  
 7月10日(木)～12日(土) フォーラム参加  
 7月12日(土) 済州発、大阪着



出展ブース

## 2025年9月8日(月)～14日(日) シートレード・クルーズ・ヨーロッパ2025に参加

ドイツ・ハンブルクで開催された展覧会「シートレード・クルーズ・ヨーロッパ」に参加。5港(新潟、大阪、熊本、沖縄、京都舞鶴)で連携し、ブースの出展やクルーズ船社との商談等を行いました。

### 《訪問者(3名)》

京都府北部地域連携都市圏振興社専門役	マイケル	ユルゲス
京都府経済交流課副主査	下野 群星	
舞鶴市みなと振興・国際交流課主査	池田 健太	

### 《日 程》

9月 8日(月) 大阪発、ハンブルク着  
 9月 9日(火) クルーズ船社訪問  
 9月10日(水)～12日(金) シートレード出展  
 9月13日(土) ハンブルク発  
 9月14日(日) 大阪着



出展ブース

## 2025年11月5日(水)～7日(金) 2025上海国際クルーズサミットに参加

中国・上海で開催された国際クルーズサミットに参加。京都舞鶴港がEmerging Cruise Port Development Award(クルーズ市場で台頭しつつある港湾賞)を受賞しました。

### 《訪問者(2名)》

京都府港湾局長	相木 敢
舞鶴市産業振興部長	小島 宏

### 《日 程》

11月5日(水) 大阪発、上海着  
 上海クルーズターミナル視察  
 11月6日(木) 2025上海国際クルーズサミット  
 11月7日(金) 上海発、大阪着



受賞式

# 京都舞鶴港を活用した貿易振興

## 2025年1月12日(日)～15日(水) 韓国訪問ミッションを実施

1月12日～15日、韓国ソウル市で京都舞鶴港セミナーを開催するとともに、船社訪問や釜山港視察などを行いました。

13日のセミナーでは釜山港湾公社などの協力により、船社や物流関係企業など約50名が集まり、京都舞鶴港の説明や舞鶴港利用企業による事例発表などを実施しました。

### 《訪問者(6名)》

舞鶴市長	鴨田 秋津
京都舞鶴港振興会専務理事	和久 輝幸
京都舞鶴港振興会常務理事	飯田 徹
京都舞鶴港振興会次長	足立 健太
京都府経済交流課主査	川上 聡一
舞鶴市みなと振興・国際交流課みなと振興係長	池田 好宏



京都舞鶴港セミナーinソウルで挨拶する鴨田市長

### 《日 程》

1月12日(日) 大阪発、ソウル着  
1月13日(月) 船社訪問、セミナー開催  
1月14日(火) 船社訪問、釜山に移動  
1月15日(水) 釜山港視察、釜山発、大阪着

## 2025年7月28日(月) モンゴル国副首相一行が京都舞鶴港を視察

7月28日、大阪・関西万博の公式行事に参加するため来日したモンゴル国のトグミド・ドルジハンド副首相一行が舞鶴市に来訪し、鴨田市長はじめ港湾関係者と、日本とモンゴルの貿易振興について意見交換しました。

副首相一行は、モンゴルから京都舞鶴港へ試験輸送されたトレーラーを確認するとともに港湾施設等を視察しました。

### 《来訪者(9名)》

モンゴル国副首相	トグミド・ドルジハンド
モンゴル国国会議員	バドラフ・ナイダラー
駐日モンゴル国特命全権大使	バンザラクチ・パヤルサイハン
モンゴル国外務省事務次官	ラナージャブ・ムンフトウシグ
モンゴル国副首相上級顧問・事務局長	バータ・ガンボルド
モンゴル国外務省国際貿易・経済協力局長	ガンボルド・ウルジーサイハン
駐日モンゴル国大使館経済部参事官	ウールド・ムンフバット
副首相付顧問	ソドノムドルジ・サナセル
報道官	トムルサイハン・オトゴンバートル



意見交換



京都舞鶴港を視察

## 2025年9月24日(水)～27日(土) 「日本企業武漢訪問」企業代表団に参加

中国・武漢市投資促進局主催の「2025日本企業武漢訪問」企業代表団に参加。現地では水素エネルギーや自動車などの分野に関する企業を視察したほか、産業マッチング会に参加しました。

### 《訪問者(1名)》

京都舞鶴港振興会次長 足立 健太

### 《日 程》

9月24日(水) 大阪発、武漢着、開幕式  
 9月25日(木) 産業マッチング会、現地視察  
 9月26日(金) 現地視察  
 9月27日(土) 武漢発、大阪着



産業マッチング会



企業視察

## 2025年10月22日(水)～27日(月) 大連日本商品展覧会に出展

京都舞鶴港における中国との輸出入貨物の増加、直行定期航路の再開を図るため、舞鶴市と友好都市である大連市で開催された「第14回大連日本商品展覧会」において、京都舞鶴港及び地域特産品や市内企業等の商品のPRを行いました。

### 《訪問者(4名)》

京都舞鶴港振興会副理事長 相木 敢(京都府港湾局長)  
 京都舞鶴港振興会常務理事 飯田 徹  
 京都舞鶴港振興会次長 吉田 尚史  
 京都舞鶴港振興会次長 足立 健太



展覧会会場

### 《日 程》

10月22日(水) 大阪発、大連着  
 10月23日(木) 関係機関等訪問、展示ブース設営、出展企業交流会  
 10月24日(金) ブース運営、関係機関等訪問、大連副市長主催招宴レセプション参加  
 10月25日(土) ブース運営、大連港視察  
 10月26日(日) ブース運営  
 10月27日(月) 大連発、大阪着



出展ブース

## その他国際交流

### 2025年4月11日(金) JICA海外協力隊が舞鶴市長表敬訪問

JICA(独立行政法人国際協力機構)の海外協力隊として、4月22日からウガンダ共和国で活動される舞鶴市出身の藤村悦史さんが、派遣前の報告のため、舞鶴市長を表敬訪問されました。

#### 《来訪者(4名)》

JICA海外協力隊	藤村 悦史
JICA関西JICA海外協力隊相談役	前原 美和
国際協力推進員(JICA京都デスク)	千野美沙希
NPO法人京都海外協力協会(KOCA)	坂根 均



藤村さんと記念撮影

### 2025年6月15日(日)～7月13日(日) 日本語支援ボランティア養成講座が開講

在住外国人を対象とした日本語教室の継続的な運営のため、新規日本語支援ボランティアを養成する講座が開講。全5回の講座に計20人が受講されました。



日本語支援ボランティア養成講座

### 2025年7月30日(水) ウズベク料理の調理実習を実施

小学校給食のレシピの参考にしてもらうため、市内の栄養士と調理員により開催された調理実習に国際交流員のアフメドフ・アシルベクさんが参加。

ウズベキスタンの伝統料理であるプロフやラグマンを調理し、試食しました。



市内の調理員とともにウズベク料理を調理

## 2025年8月11日(月) 舞鶴引揚記念館 引き揚げ開始80周年イベントに参加

国際交流員のアフメドフ・アシルベクさんと、京都職業能力開発短期大学校に留学しているウズベキスタン人留学生が、舞鶴引揚記念館の引き揚げ開始80周年イベントに参加。当日参加していた市内の学生たちと一緒に「シュギナ」と呼ばれるダンスゲームで交流し、会場は大いに盛り上がりました。



「シュギナ」の説明をするアシルベクさんら

## 2025年8月、11月 在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所関係者が来訪

舞鶴市との友好都市である大連市から、在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所の浜田伸子所長と米田麻衣次席領事が8月と11月にそれぞれ来訪。舞鶴滞在中は、舞鶴市長へ表敬訪問されたほか、舞鶴赤れんがパークや引揚記念館などを視察されました。

### 《来訪者2名》

8月21日(木)・22日(金)

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所  
次席領事 米田 麻衣

11月25日(火)・26日(水)

在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所  
所長 浜田 伸子



引揚記念館を視察する浜田所長



米田次席領事の市長表敬訪問

## その他国際交流

2025年8月31日(日)、9月6日(土)

### 「誰もが暮らしやすいまちづくり」を考える座談会を開催

次期舞鶴市総合計画策定に向けて、基本構想を検討する市民ワークショップ「『誰もが暮らしやすいまちづくり』を考える座談会」を開催しました。

現行の第7次総合計画が2027年に終わりを迎えることから開催したもので、2日間で計61人のさまざまな国籍の市民の皆さんが参加。外国人や女性に関する社会課題を整理し、外国人や女性が働き・暮らしやすいまちとはどのようなまちかを考えました。

2日間の座談会で、ダイバーシティ(多様性)やインクルージョン(包摂性・包含性)の理解が深まる機会になりました。



グループに分かれてワークショップを実施

### 2025年10月17日(金)～19日(日) 舞鶴ユネスコ協会が絵画展を開催

舞鶴ユネスコ協会が、ショッピングセンターらぼーるで絵画展を開催。市内の子供たちのほか、姉妹・友好都市である英国・ポーツマス市、中国・大連市の子供たちの絵画が展示され、多くの来場者でにぎわいました。

#### 《展示作品》

わたしの町のたからもの絵画 (市内小中学生の作品)	26点
幼稚園・保育園・こども園園児絵画	19点
世界児童絵画	41点



大連市の子供たちが描いた作品



ポーツマス市の子供たちが描いた作品

## 2025年11月16日(日) 南舞鶴ふれあいサンデーに参加

国際交流員のアフメドフ・アシルベクさんと、京都職業能力開発短期大学校に留学しているウズベキスタン人留学生4人が南公民館で開催された「ふれあいサンデー」に参加しました。

出し物では、ウズベキスタンの伝統的なダンスである「アンディジャン・ポルカ」を披露したほか、ダンスゲームの「シュギナ」を行い、会場を盛り上げました。



ダンスゲーム「シュギナ」

## 2025年11月29日(土) 舞鶴市ボランティアセンター50周年記念フェスタに参加

舞鶴市ボランティアセンターの開設50周年を記念して開催された「来て、見て、聞いて、ふれてみて広がれ広がれボランティア」に国際交流員のアフメドフ・アシルベクさんと京都職業能力開発短期大学校に留学しているウズベキスタン人留学生が参加。舞鶴国際交流協会が出展したブースで、ウズベキスタンの民族衣装を紹介したり、ダンスを踊ったりして来場者と交流しました。



民族衣装を身にまとう留学生ら

## その他国際交流

### 2025年12月12日(金) アメリカ海軍駆逐艦「フィッツジェラルド」艦長が市長表敬訪問

アメリカ海軍駆逐艦「フィッツジェラルド」が修繕のため、舞鶴へ寄港。艦長のポール・F・リチャードソン3世中佐が舞鶴市長へ表敬訪問されました。

#### 《来訪者(2名)》

アメリカ海軍「フィッツジェラルド」艦長  
ポール・F・リチャードソン3世中佐  
在大阪・神戸米国総領事館 広報文化交流担当領事  
ワリド・ザファル



ポール中佐と記念撮影

### (通年) 国際交流員(CIR)によるまちづくり出前講座を開催

異文化理解を促進することや市民との交流を深めるため、年間を通して国際交流員のアフメドフ・アシルベクさんによる出前講座を開催しています。

2025年は、市内の教育機関や団体など7機関から依頼を受け、舞鶴市とウズベキスタンの交流の取り組みのほか、ウズベキスタンの歴史・文化・料理・観光等について紹介しました。



夏休み児童クラブ(8月18日)



舞鶴工業高等専門学校(9月16日)

---

## 国際交流 2025

舞鶴市国際交流報告書

2026年3月 印刷

発行 舞鶴市役所 産業振興部 みなと振興・国際交流課

〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸 1044

電話 0773-66-1037

印刷 株式会社 モトキ

---